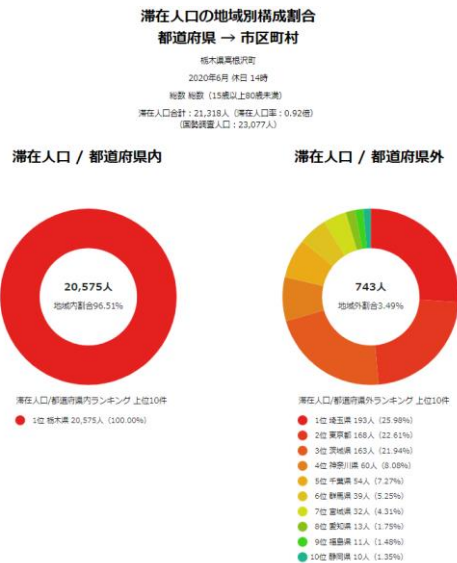


活用目的				地域課題キーワード	分析者			
現状の把握	課題の特定	戦略・施策の検討	効果の検証	【観光】交流人口の増加	教育機関	地方公共団体	研究機関	民間企業・団体
○		○					○	
RESAS、V-RESAS 活用の目的		栃木県高根沢町の交流人口の増加に向けたプロモーション事業として、事前調査のインターネット調査対象者や道の駅のイベントの開催時期を検討する。						
分析内容		<ul style="list-style-type: none"> ● 県外からの高根沢町への滞在人口は86%が1都3県と北関東3県の関東圏であった。 ● 高根沢町の滞在人口の滞在時期は多い順に冬、秋、夏、春、となった。 ● 別途実施したアンケート調査結果より、高根沢町への希望訪問時期としては春と秋が多いことが分かった。 						
戦略・施策		<ul style="list-style-type: none"> ● プロモーション事業の事前調査のインターネット調査対象者は1都3県と栃木県（高根沢町を除く）の住民とした。 ● 道の駅のイベントの開催時期は高根沢町への訪問者が多くかつ訪問のポテンシャルもある秋の10月とした。 						
取組結果		<ul style="list-style-type: none"> ● 開催したイベントには2,000人弱が来場した。 ● イベントの来場者からは新米に関連した商品提供や高根沢町の気候や風土などに対して一定の評価を得られており、秋の時期に開催するメリットがあった。 						

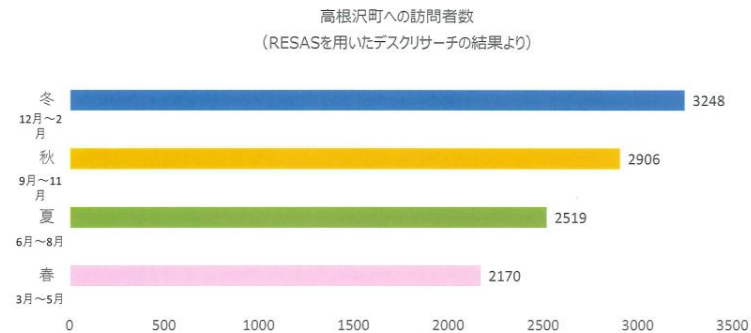
From-to分析（滞在人口）



【出典】「RESAS（地域経済分析システム）-From-to分析（滞在人口）-」<https://resas.go.jp/tourism-stay/#/graph/9/09386/2020/12/2020/2/2/14/-/-/5.333900736553437/41.42090017812787/142.29371418128918>（2023年3月29日に利用）

滞在人口の滞在時期の分析

RESASを用いたFrom-to分析 訪問者数（2020年）



2020年に高根沢町に県外から訪問した人数は上記の通りである。
最も訪問者数が多かったのは「冬」であり、次いで「秋」、「夏」、「春」となっている。
※冬時期には雪降り、春時期にはゴールデンウィーク、夏時期にはお盆と各シーズンに人の往来が増えるイベントに影響している可能性があります。

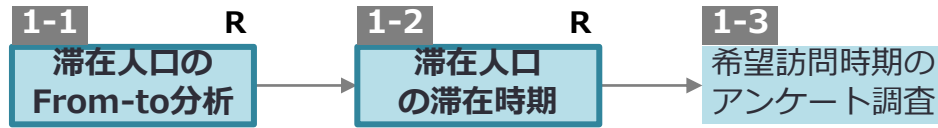
【出典】高根沢町提供資料

交流人口の増加に向けた 道の駅プロモーション事業の検討

栃木県高根沢町

活用目的				地域課題キーワード	分析者			
現状の把握	課題の特定	戦略・施策 の検討	効果の検証	【観光】交流人口の増加	教育機関	地方 公共団体	研究機関	民間企業 ・団体
○		○					○	

利用データ・メニュー
【まちづくり】 Form-to分析（滞在人口）



定量的な分析
 定性的な分析
 情報の整理/施策の検討

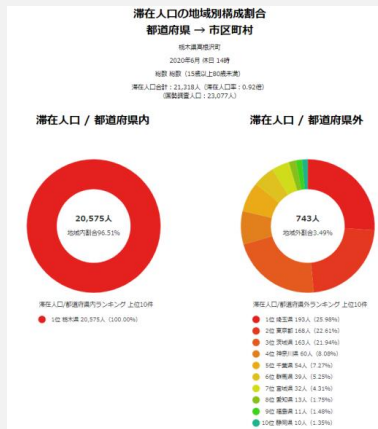
R RESASを活用した分析 **V** V-RESASを活用した分析

- 滞在人口のFrom-to分析から高根沢町への訪問客の特徴を把握した。
- 滞在人口の滞在時期や高根沢町への希望訪問時期のアンケート調査の分析から高根沢町への訪問者が多い時期を把握した。

1-1 **R**
滞在人口のFrom-to分析

都道府県外からの滞在人口の内訳を分析することで、高根沢町への訪問者はどこから多く来ているのかを把握した。分析結果として、県外からの高根沢町への訪問者は86%が1都3県と北関東3県の関東圏であることが分かった。

From-to分析（滞在人口）

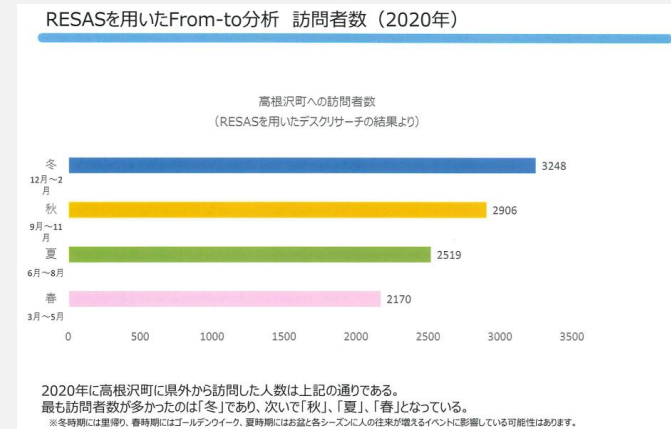


【出典】「RESAS（地域経済分析システム）-From-to分析（滞在人口）-」 <https://resas.go.jp/tourism-stay/#/graph/9/09386/2020/12/2020/2/2/14/-/-/5.333900736553437/41.42090017812787/142.29371418128918> (2023年3月29日に利用)

1-2 **R**
滞在人口の滞在時期

春（3月～5月）、夏（6月～8月）、秋（9月～11月）、冬（12月～2月）ごとの滞在人口の数を分析し、どの時期に高根沢町に訪問する人が多いのかを把握した。分析結果として、多い順に冬、秋、夏、春、に高根沢町へ訪問していることが分かった。

滞在人口の滞在時期の分析



【出典】高根沢町提供資料



定量的な分析
 定性的な分析
 情報の整理/施策の検討
R RESASを活用した分析 **V** V-RESASを活用した分析

- データ分析の結果を踏まえ、プロモーション事業の事前調査のインターネット調査対象者やイベント開催時期を決定した。



滞在人口のFrom-to分析を踏まえ、プロモーション事業の事前調査のインターネット調査対象者は1都3県と栃木県（高根沢町を除く）の住民とした。また、滞在人口の訪問時期の分析とアンケートによる希望訪問時期の調査結果を踏まえ、道の駅のプロモーション事業におけるイベントの開催時期は秋の10月とした。

イベントの概要

実施概要	
・名称	TAKANEZAWA RuralPop Live 2022
・開催日時	2022年10月23日(日) 13:00~19:30 (ブースゾーンは12:00~)
・開催場所	道の駅たかねざわ 元気あつむら内特設会場 〒329-1212 栃木県塩谷郡高根沢町大字上柏崎588番地1
・入場者	1,646人
・料金	無料
・主催者	高根沢町
・実施内容	土岐麻子・TENDREライブ・U字工事ライブ・「RuralPop」DJ Mix 「ミニマルマルシェ」の開催 ・高根沢町産「とちぎの星」1,000限定無料配布プロモーション ・北関東のカレーの銘店4店を集めた「カレーグランプリ」 ・高根沢町、栃木県に店舗を構える食・物販12店による販売
・ウェブサイト	https://www.town.takanezawa.tochigi.jp/zawatsuku/rpl2022/
・イベントの目的	東京圏20代~40代をターゲットに、高根沢町への関心を高め、今後の町への転入促進に向けた契機とするため。



とちぎの星

「とちぎの星」は、平成26年に登場した栃木県のブランド米です。日本穀物検定協会による食味ランキングで、平成29年度から令和元年度まで3年連続で「特A」を獲得し、粒の大きさと豊かな甘さが特徴です。炊飯後も粒がしっかりとついて品質が良いのが特徴で、冷めてもおいしいため、おにぎりや丼物にもよく合います。



道の駅たかねざわ 元気あつむら

ご当地グルメや天然温泉・農産物直売所があり、高根沢町を満喫できるスポット。

【出典】高根沢町提供資料

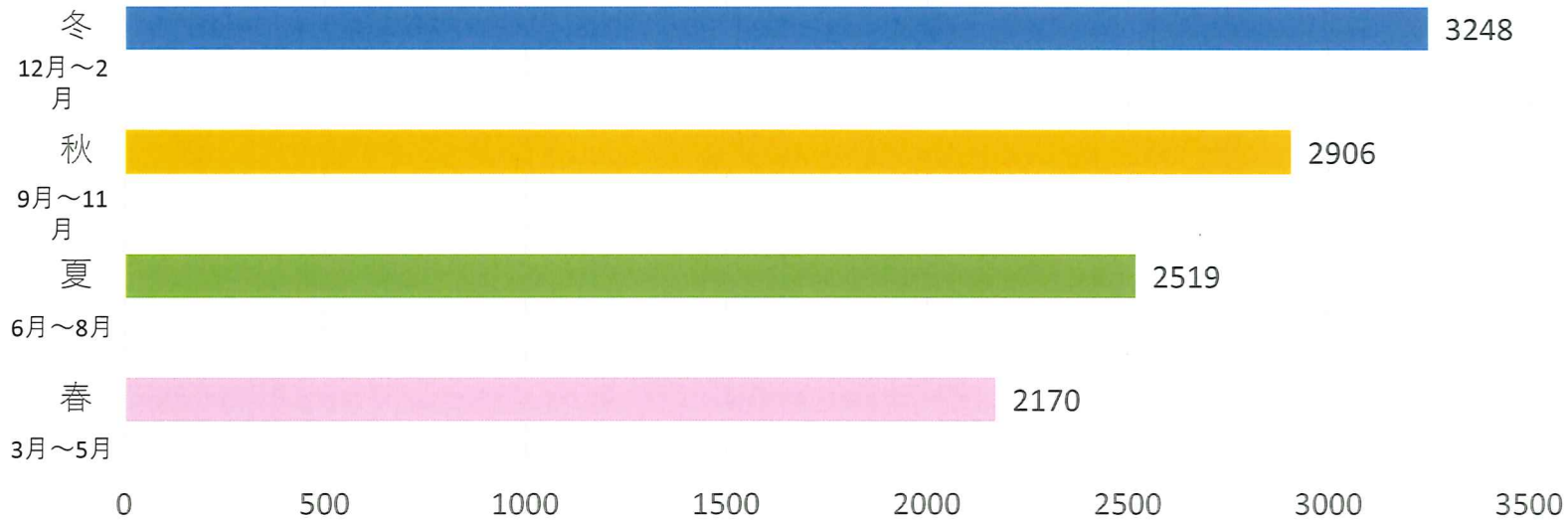
交流人口の増加に向けた 道の駅プロモーション事業の検討

栃木県高根沢町

活用目的				地域課題キーワード	分析者			
現状の把握	課題の特定	戦略・施策 の検討	効果の検証	【観光】交流人口の増加	教育機関	地方 公共団体	研究機関	民間企業 ・団体
○		○					○	

RESASを用いたFrom-to分析 訪問者数（2020年）

高根沢町への訪問者数
(RESASを用いたデスクリサーチの結果より)



2020年に高根沢町に県外から訪問した人数は上記の通りである。

最も訪問者数が多かったのは「冬」であり、次いで「秋」、「夏」、「春」となっている。

※冬時期には里帰り、春時期にはゴールデンウィーク、夏時期にはお盆と各シーズンに人の往来が増えるイベントに影響している可能性があります。